

タイトル「2020年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2020年度 経済学部シラバス」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	公的扶助法		
担当教員	金川 めぐみ		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	
曜日・時限		単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考			
科目名(英語表記)	Social Assistance Law		
授業の概要・ねらい	少子化・高齢化などの人口的变化、国際化、医療費の増大、社会保障費全体の増大など、現代の社会保障制度には財政基盤や構造を揺るがしかねない問題状況が山積しています。本講義ではこのような状況を踏まえ、公的扶助制度(生活保護制度)と低所得者対策、生活困窮者対策について、具体的な事例を素材とした講義を行います。		
授業計画	授業計画は、受講登録人数、みなさんの内容の理解度や進捗状況等により変更する可能性があります。		
	回	内容	
	1	学修項目: ガイダンス・社会保障・公的扶助の概念 予習課題: シラバスに眼を通しておくこと 復習課題: 講義で学んだ公的扶助の概念について確認しておくこと	
	2	学修項目: 貧困と低所得①(貧困と低所得の違い、相対的貧困率) 予習課題: 学修/振り返りシート(1)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(1)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	3	学修項目: 貧困と低所得②(社会的排除と社会的包摂)、公的扶助の歴史、生活保護法①(扶助の種類) 予習課題: 学修/振り返りシート(2)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(2)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	4	学修項目: 生活保護法②(実施機関と権利救済、4つの基本原理: 1)、朝日訴訟 予習課題: 学修/振り返りシート(3)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(3)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	5	学修項目: 生活保護法③(朝日訴訟) 予習課題: 学修/振り返りシート(4)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(4)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	6	学修項目: 生活保護法④(4つの基本原理: 2、ホームレスの生活保護受給) 予習課題: 学修/振り返りシート(5)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(5)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	7	学修項目: 生活保護法⑤(4つの基本原理: 3、外国人の生活保護受給) 予習課題: 学修/振り返りシート(6)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(6)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	8	学修項目: 生活保護法⑥(4つの基本原理: 4) 予習課題: 学修/振り返りシート(7)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(7)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	9	学修項目: 生活保護法⑦(生活保護の基本原則) 予習課題: 学修/振り返りシート(8)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(8)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	10	学修項目: 生活保護法⑧(権利と義務)、生活困窮者自立支援法①(成立経過、自立支援の概念) 予習課題: 学修/振り返りシート(9)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(9)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	11	学修項目: 生活困窮者自立支援法②(現状と課題) 予習課題: 学修/振り返りシート(10)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(10)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	12	学修内容: 公的扶助制に関するグループワーク①: 情報収集 予習課題: 学修/振り返りシート(11)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(11)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	13	学修内容: 公的扶助法制に関するグループワーク②: 分析 予習課題: グループワークのワークシートについて理解しておくこと 復習課題: グループワークのポスターを完成させ、準備しておくこと	
	14	学修内容: 公的扶助法制に関するグループワーク③: 報告 予習課題: グループワーク報告の内容を理解し準備しておくこと 復習課題: 学修/振り返りシート(12)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	15	学修内容: 講義のまとめと最終テスト 予習課題: 講義全体の内容についてあらためて確認しておくこと。 復習課題: 講義のまとめと理解度テストの内容につき、今一度学修を深めておくこと	

到達目標	<p>1) 講義第1回で紹介する公的扶助法の総論における基礎概念についていくつかのキーワードを用いて説明できる。</p> <p>2) 講義第2～11回で紹介する公的扶助法の内容について、いくつかのキーワードを用いながらその内容を適切に述べるができる。講義内で紹介する、具体的な判例における課題について説明できる。</p> <p>3) 講義第12～14回の少人数グループワークに参画し、与えられた題材に対して論理的に自分の意見を述べるができる。</p> <p>4) 講義第15回で課される最終テストにおける論点に対して、その内容を適切に述べるができる。</p>
成績評価の基準と方法	<p>・授業中に提出する学修/振返りシート(40点)、最終テスト(60点)、任意レポート複数回(1つにつき5点までの範囲でプラスアルファ点)。</p> <p>ただしみなさんの受講状況によりこの評価基準は変化する可能性があります。評価基準の変更がある場合は、授業中の配布プリントにて周知をします。</p> <p>・最終テストは、参照物持ち込み不可とします。</p>
教科書	使用しません。授業中に配布する資料で対応します。
参考書・参考文献	授業の進捗状況に応じ、随時紹介します。
履修上の注意・メッセージ	新聞・メディアの生活保護関係の情報を常に敏感に摂取し、メディアの言うままではなく論理的な目で分析した上で、授業に積極的に参加していただくことを望みます。授業中にグループワークを取り入れますので、この点につき承知をした上で受講をお願いします。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	私の担当科目には、社会保険法、社会保障法総論、社会福祉サービス法があります。 なお他の関連科目としては、雇用関係法、雇用政策法、労働団結法、人権保障システム法総論、行政法総論、行政作用法、民法[総則]、民法[親族・相続]、社会政策(雇用と労働)、社会政策(社会保障)、労働経済論、社会保障論があります。
授業時間外学修についての指示	授業計画欄で指示しています。
授業理解を深める方法	学生による発表を伴う学習、グループワークをとまなう学習を取り入れています。
その他連絡事項	授業内でPCを使用する予定です。教員が指示した際には、各自持参してください。
オフィスアワー	前期:水曜日・12:30-13:00、後期:水曜日12:30-13:00 訪問先:西3号館5F520研究室
科目ナンバリング	E336002PJ